

産業廃棄物処理業における作業床、歩み板を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	11～ 12	粗大ごみの荷下ろし中、トラックの荷台に乗ろうとしたところ、鉄製の床が濡れていたため足を滑らせ、尾てい骨を強打した。	67	50 ～ 99
2	14～15	事務棟ゴミステーション前にて、産業廃棄物収集作業中、勾配のあるゴミステーション前で下り勾配側が右足、上り勾配側が左足で歩行中、緩い勾配ではあったが体勢を崩した。右足首を捻り、転倒しそうになり、負荷のかかる状態で左足を地面についた。その結果、左足アキレス腱が損傷した。	55	30 ～ 49
3	14～15	構内のゴミ集積場より小走りで移動中、事務所前スロープ横の段差に左足のつま先を引っかけて体勢を崩し、前のめりに転倒し、左橈骨末端骨折を負った。	58	1 ～ 9
10	6～7	トラックの駐車場にてコンテナを交換したあと、シートを取ろうとして角材につまづき前のめりになり左足の膝を負傷した。	52	10 ～ 29
11	17～ 18	本社第一工場にてバックホー（重機）より降車する際に、キャタピラに足を置いた後、ステップの間に荷物があつたため、ステップを使わず地面に飛び降りたところ、段差があり足を捻って負傷したものである。	36	50 ～ 99

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html